

紺碧新緑、浪漫回道

～ 瀨峡・那智滝～

研究第一部 主事 伊藤 尚 美
総務部 主事 三瓶 美和子

日増しに冬の終りを告げる気配が感じられつつもまだ冬
雪が居座っている東京を抜け出し、3月半ば、私達は一
足早い春の息吹を求めて和歌山は熊野川、“瀨峡”を訪ね
ることにしました。



ウォータージェット船

滝といったような数々の造型美に出会うことができます。
また、その水面はあくまでも静かに清く澄んでいるのに、
その周りを荒々しい男性的景観が囲んでいて、その対比が
とても不思議な雰囲気を感じさせていました。



獅子岩



こま犬



熊野川は、大峰山脈を水源とし、諸溪流を加えて南下、
井地点で大台が原を源とする北山川を合流した後、更に
り続けて熊野灘に注ぐ一級水系で、流域面積2,360km²、
線流路延長183km、和歌山、三重、奈良の三県を股にか
る紀伊半島最大の河川であり、また流域の97%が山地で、
くから瀨峡を初めとした渓谷の自然美で知られていま
。



熊野川

“瀨峡”とは、熊野川の支流、北山川の渓谷の総称であ
、特別名勝、天然記念物に指定されています。ここは瀨
丁とも呼ばれ、下瀨十六丁、上瀨二十丁、さらに奥瀨七
より構成される大渓谷です。瀨八丁の『八丁』とは、大
広く大きいということでその後、私達はその意味を思い
らされることになります。

志古からウォータージェット船に乗船し、数々の名勝奇
を觀賞しながら川を遡っていくと、いよいよお待ち兼ね
“瀨峡”です。

そこでは、瀨の美しさを天下にうそびているような得
顔の獅子岩や、頭の出来も尾の出来も口のあたりの様子
全く珍しい出来栄で、自然の力の偉大さを只驚かさせ
れるこま犬などの大小様々な奇岩怪岩、寒泉窟、母子の

次に、私達は深い原生林に覆われた那智山を切りさいて
落下している那智滝を訪ねました。那智山には48本の滝が
ありそれぞれ、一ノ滝、二ノ滝といったように名前が付け
られています。那智滝は、日光の華厳滝をもしのぐ一ノ滝
のことをいい、滝幅13m、高さ133mという屈指の名瀑で、
目を覚まさせるような豪華華麗な滝模様を、私たちに披露
してくれました。その余りの迫力に圧倒されつつも近づい
てみると、堅く厳しい表情の中に穏やかな老成さを感じら
れ、とても懐かしい人に会ったような気がしました。



那智の大滝

もう暫くすると、山桜などの色とりどりの花々が辺り一
斉に咲き乱れ、これらをにぎやかに飾り立てたり、鮎など
の川魚が上がったりと、色々な趣向を楽しみことができる
そうです。これらの恵みが、いつまでも愛でられるよう
でありたいと願いつつ、私達はこの地を後にしました。